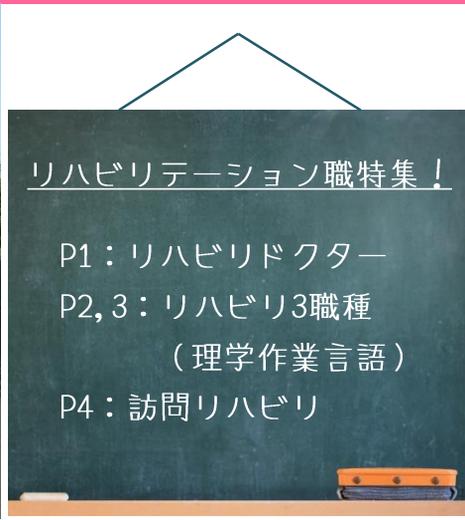




発効日：2021年4月発行 (VOL.2)

発行元：医療法人社団聖稜会 聖稜リハビリテーション病院 リハビリテーション部

住所：静岡県藤枝市宮原676-1 TEL：054-639-0112



リハビリテーション科医のお仕事

リハビリ部 部長 医師 五十嵐有紀子

リハビリテーション、という言葉にどんなことを思い浮かべますか？短く略してリハビリ、という言葉もよく使われています。でも実際にリハビリ科のお医者さんは何をしているのでしょうか？内科や外科と違ってなじみのないカタカナ語ですし、眼科や耳鼻科などのように体の部分の名前もついていません。

私たちの体の機能や能力は病気をした時や、けがをしてしまったとき、不活発が続くなど生活の状態によっても低下してしまうことがあります。リハビリ科は不調を生じた体の機能や能力を回復させたり、生じてしまった障害や不利益を克服するための、「人々の活動を育む」医学分野です。

ここでいう「活動」とは、どんなことでしょうか。日常での活動は、起き上がる、座る、立つ、歩く、手を使う、見る、聞く、話す、考える、衣服を着る、食事をする、排泄する、等々まず身の回りのことです。さらにそうした活動が組み合わさって、掃除・洗濯・買い物などの家庭の「活動」や、就学、就労などの社会での「活動」や地域行事やスポーツなどの「活動」につながっていきます。自分が自分らしく生きるために必要なことなのです。



動きにくさ・やりにくさを医学の面から支えて回復への道筋をつけたり、障害があってもやりたいことができるようにしていくのがリハビリテーション医学です。そのためには薬や注射という治療手段のほかに、リハビリテーション処方といってリハビリテーションの内容を考えたり、義肢や装具の処方をします。

リハビリテーション医療では「チーム医療」といって医師の他に通常多くの専門職の人たちが力を合わせて治療にあたります。看護師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、義肢装具士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなど様々な職種が必要に応じて医師と連携し問題の解決を図ります。病気やけがの直後から、その後自宅で生活していく時期まで、いろいろな問題が生じますが、お医者さんとして患者さんの「活動」を適切に支えていくのがリハビリテーション科医のお仕事です。

理学療法士/作業療法士/言語聴覚士とは

理学療法士 (PT) とは

理学療法は病気やケガ、障害や加齢によって運動能力が低下した方に対しておこなわれます。患者さんの症状に合わせて、寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩くといった基本動作の訓練から始め、次第に体を自在に動かせるよう導いていきます。



基本動作

歩く
立つ・座る
寝る・起き上がる
等々

また、障害の回復だけでなく、症状の悪化防止や健康維持のためにも用いられ、体を動かすリハビリや体操に加えて、電気刺激・温熱療法やマッサージなどを取り入れることもあります。

作業療法士 (OT) とは

作業療法は日常生活動作や作業を通してリハビリを進めることをいいます。例えば食事や家事、入浴や着替えといった日々の生活に必要な動作、すなわち患者さんにとっては全ての作業がリハビリになり生活動作につながります。また、手芸やレクリエーションなどを取り入れて訓練をしたり、摂食障害の患者さんのリハビリに活用されることもあります。精神科で患者さんの精神面を専門的にサポートするというOTも増えています。



生活動作

食事
入浴
トイレ
更衣
整容



趣味活動

手芸
料理
集団活動



その他

復職
運転再開

等々

理学療法は、これらの「**身体づくり**」から健康と幸福の実現を目指します。

作業療法は、これらの「**生活づくり**」から健康と幸福の実現を目指します。

理学療法士から一言

ケガや病気で入院された方が、今後の生活の架け橋となるように、私たちがまず可能性を信じて、前向きに一つずつ一緒に目標に向かっていけるように心がけています。



作業療法士から一言

本人や家族が、日常生活上で不自由を少しでも感じないように退院後の生活を見据えてサポートするだけでなく、ご自身がやりたいと思える活動が退院後に行えるように本人と一緒に考えています。



言語聴覚士 (ST) とは

理学療法士や作業療法士と同様にリハビリテーションを提供する職種です。仕事内容は主に「会話」「食事」「認知機能」に関わるリハビリテーションを行います。



例えば、声や発音、話し方に問題が生じた発声・構音障害、言葉の理解や表現が難しくなった失語症、食べること・飲み込むことが難しくなった嚥下障害に対して訓練を行います。また、小児の発達障害における言葉の問題に対してもリハビリテーションを行います。

理学作業に比べ人数が少ないこともあり、知名度が低い職種です。地域内でも連携できるように頑張ります。

言語療法は主に「食事とコミュニケーション」の改善を目指します。

言語聴覚士から一言

いつまでも美味しい食事が食べられることや、大切な人とのコミュニケーションが取れることを目標にしています。その人に寄り添ったリハビリを心がけています。



【最後に】

理学/作業療法士や言語聴覚士は、今まで述べたように専門職によって簡単に言うと得意分野が違いますが、重なり合うことが多い職種です。「OTだから歩く訓練ができない」

「PTだから手の訓練ができない」とはっきり線引きされているものではなく、利用者様のニーズに応えられるように、必要なリハビリを提供させていただくことができます。

リハビリテーションの大きな目的は、もしケガや病気で体が不自由になってもその方らしい生き方を、生活の中に落とし込むことにあります。そのために、私たちリハビリテーション専門職ができる限りサポート致します。



【おまけ：回復期病院での訓練とは】

簡単に言うと…

「退院後を見据えたりハビリテーションを行うところ」です。

回復期リハビリテーション病棟は入院施設で、1日最大3時間リハビリに励むこととなります。ここでは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による専門的なリハビリはもちろん、朝起きてから寝るまでの入院生活すべてをリハビリと捉え、それぞれの動作に目的をもって、できる限りご自身の力で生活出来るよう支援します。より在宅生活に近い環境で日常生活の動作を繰り返し練習します。退院後を見据え、社会資源の利用や生活環境の整備のサポートも行います。急性期病院と比べて日常生活動作 (ADL: Activities of daily living) 訓練を中心に実施しています。

訪問リハビリとは

訪問リハビリは心身機能や体力が低下し、リハビリが必要と判断された方のご自宅に、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が訪問し、医師の指示のもとにリハビリを実施します。



訪問エリア

藤枝市全域、島田市・焼津市の一部

具体的なサービス内容

基本的動作練習、日常生活動作練習、家事動作練習、家族指導、自主トレ指導、呼吸練習、環境設定アドバイス、摂食嚥下練習、発話練習、外出支援、精神心理的援助 など

私達は、ご自宅でのリハビリで心身機能の維持、回復を図るお手伝いをして、趣味や社会参加への橋渡しをします!!

令和3年4月～訪問リハビリスタッフに言語聴覚士（ST）が加わりました☆

→言語聴覚士は、言葉や食事のスペシャリストです。会話がスムーズにできない、むせる、誤嚥しやすいなどでお困りの際はご相談ください。

編集後記

うらかな春日和が続いております。最後までご覧いただきありがとうございます。まずは、前回の創刊号で終わらずに第2号が発刊でき安堵しております。

当院では2月に電子カルテシステムが稼働しました。私もその準備のために右往左往しており、胃が痛い日々が続きました。パソコンはどこでも情報が拾えて便利ですが、融通が効かないことも多く一長一短だなと感じております。介護サービス下でも「LIFE」の話題で持ち切りですが、大変な情報入力の先に得られるものがあると期待したいですね。それでは次号は梅雨を超えた8月に刊行予定です！

（編集長 言語聴覚士 増田純市）